

## 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	国際経営学部	身分	教授
氏名	野間口 隆郎		
NAME	Takao Nomakuchi		

中央大学特定課題研究費による研究期間終了に伴い、中央大学学内研究費助成規程第15条に基づき、下記の通りご報告致します。

## 1. 研究課題

（和文）デジタルトランスフォーメーションに強い中国的経営の研究 ーファーウェイのオープンイノベーション能力の解明ー

（英文）Research on Chinese-style management that is strong in digital transformation - Unraveling Huawei's open innovation capabilities -

## 2. 研究期間

2022年度 ～ 2023年度

## 3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）

中国的経営の特質は未だ明らかにされていない。グローバルな枠組みの構築において、中国企業は、世界で最も優れた部品を検索して組み合わせ、顧客の注文に応じてカスタマイズしながら迅速に提供するグローバル構造に強い。つまり圧倒的なオープンイノベーション力を持つ。中国企業が選択能力や組み合わせ能力に優れるため、グローバルなオープン・エコシステムに適応することができたということである。しかし、なぜ、オープンイノベーションに優れるのかという問いがのこされている。その間に答えることができなければ、日本企業はそれらの能力の真似をすることはできない。中国では各産業に、「弯道超车」というスローガンを提唱している。カーブで日本企業は全員コケるため、カーブで全部追い抜けばいいというものである。中国企業はことごとくカーブに強い。そして、日本企業はことごとくカーブに弱い。中国企業を代表する5G通信機器企業であるファーウェイは創業社長である任正非が中国的経営をおこなっていることが言われているが、その具体的な経営については明らかにされていない。強い中国企業の代表であるファーウェイに関する中国の文献を詳細に分析することで中国的経営を明らかにした。

ただし、インテルやサムソン、TSMCなどの企業、古くは全盛期のパナソニック、ソニーなどと同じく、組織内でオープンイノベーションの際の外部とのコンフリクトを解消する独自の仕組みを持つことが明らかになった。その一つが奮闘者を第一とするファーウェイ基本法（経営哲学）である。

The characteristics of Chinese-style management have not yet been clarified. In building a global framework, Chinese companies have a strong global structure in which they search for and combine the world's best parts, customize and quickly deliver them according to customer orders. In other words, it has overwhelming open innovation power. This means that Chinese companies have been able to adapt to the global open ecosystem because they have excellent selection and combination abilities. Through a detailed analysis of Chinese literature on Huawei, a representative of a powerful Chinese company, we uncovered Chinese-style management.